平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場会社名 大倉工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号 4221　URL http://www.okr-ind.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高浜 和則
問合せ先責任者　(役職名) 代表取締役常務取締役コーポレートセンター担当兼経理部長　(氏名) 豊田 員史　TEL 0877-56-1111
四半期報告書提出予定日　平成26年5月12日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	22,588	15.1	496	141.0	386	63.9	222	9.2
25年12月期第1四半期	19,621	2.0	205	△53.1	235	△40.1	203	66.3

(注)包括利益　26年12月期第1四半期 △112百万円 (—%)　25年12月期第1四半期 838百万円 (60.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	3.72	—
25年12月期第1四半期	3.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	89,239	35,897	40.2
25年12月期	90,730	36,459	40.2

(参考)自己資本　26年12月期第1四半期 35,897百万円　25年12月期 36,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年12月期	—				
26年12月期(予想)		0.00	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年 1月 1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	3.7	850	△11.3	700	△31.9	300	△58.4	5.01
通期	93,500	3.1	2,600	29.3	2,300	14.4	2,100	30.8	35.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	62,074,351 株	25年12月期	62,074,351 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	2,400,075 株	25年12月期	2,394,054 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	59,677,340 株	25年12月期1Q	60,087,892 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2P「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（１）経営成績に関する説明 …… ２
（２）財政状態に関する説明 …… ２
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… ２
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… ３
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… ３
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… ３
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ３
３．四半期連結財務諸表 …… ４
（１）四半期連結貸借対照表 …… ４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… ６
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… ８
（継続企業の前提に関する注記） …… ８
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… ８
（セグメント情報等） …… ８

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高水準の公共投資や堅調な個人消費、住宅投資などのうえに４月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が加わり、景気は引き続き緩やかに回復してまいりました。

一方で、当社グループを取り巻く環境につきましては、売上高の６割弱を占める合成樹脂事業において、原油およびナフサ価格の上昇と円安の影響により原材料価格の第三次値上げが行われる一方で、製品価格への転嫁が遅れるなどの厳しい状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、前連結会計年度に引き続き細やかな拡販努力を重ねた結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は225億８千８百万円（前年同四半期比15.1％増）、営業利益は４億９千６百万円（前年同四半期比141.0％増）、経常利益は３億８千６百万円（前年同四半期比63.9％増）、四半期純利益は２億２千２百万円（前年同四半期比9.2％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

農業向けマルチフィルムや液体輸送用リキッドパックを中心に販売数量が増加したため、売上高は130億２千７百万円（前年同四半期比9.2％増）となりました。営業利益は製品価格への転嫁が徐々に浸透してきたため、営業利益率でみると前年第４四半期に比べると僅かながら改善しましたが、まだ前年同四半期の水準には達しておらず、６億１百万円（前年同四半期比6.6％減）となりました。

〔新規材料事業〕

スマートフォンやタブレット端末向け光学フィルムの販売数量が引き続き大幅に増加いたしました。

この結果、売上高は61億６千万円（前年同四半期比比22.1％増）、営業利益は２億５千３百万円（前年同四半期比241.7％増）となりました。

〔建材事業〕

パーティクルボードの販売数量が前年６月のJIS認証再取得により順調に回復してきたため、売上高は19億４千２百万円（前年同四半期比40.1％増）となりました。営業損失は固定費の削減などに努めたこともあり、１千万円（前年同四半期比１億７千８百万円改善）となりました。

〔その他〕

木材加工（プレカット）事業及び情報処理システム開発事業が順調に売上を伸ばしました。

この結果、売上高は14億５千７百万円（前年同四半期比15.4％増）、営業利益は９千万円（前年同四半期比36.2％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ14億９千万円減少し892億３千９百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金など流動資産の減少21億２百万円及び有形固定資産など固定資産の増加６億１千１百万円によるものであります。

一方、負債につきましては、１年内返済予定の長期借入金など流動負債の増加36億５千４百万円、長期借入金など固定負債の減少45億８千３百万円により、前連結会計年度末に比べ９億２千８百万円減少し533億４千２百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金の減少３億１千２百万円などにより、前連結会計年度末に比べ５億６千２百万円減少し、358億９千７百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.04ポイント上昇し、40.2％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年２月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,838	6,445
受取手形及び売掛金	27,093	25,943
商品及び製品	4,563	4,768
仕掛品	934	1,047
原材料及び貯蔵品	3,250	3,609
販売用不動産	260	231
繰延税金資産	315	414
その他	988	683
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	45,238	43,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,514	16,178
機械装置及び運搬具（純額）	8,420	8,157
土地	6,619	6,619
建設仮勘定	4,231	5,967
その他（純額）	606	610
有形固定資産合計	36,392	37,533
無形固定資産	205	201
投資その他の資産		
投資有価証券	7,342	6,881
繰延税金資産	72	66
その他	1,505	1,447
貸倒引当金	△27	△25
投資その他の資産合計	8,893	8,370
固定資産合計	45,492	46,104
資産合計	90,730	89,239

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,793	17,523
短期借入金	8,400	8,370
1年内返済予定の長期借入金	2,552	7,423
リース債務	708	717
未払法人税等	96	93
設備関係支払手形	168	80
賞与引当金	－	583
その他	7,471	8,053
流動負債合計	39,190	42,845
固定負債		
長期借入金	9,454	5,200
リース債務	1,312	1,135
繰延税金負債	601	460
退職給付引当金	2,626	2,624
その他	1,085	1,076
固定負債合計	15,080	10,497
負債合計	54,270	53,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	17,463	17,237
自己株式	△817	△819
株主資本合計	34,333	34,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,823	1,511
為替換算調整勘定	302	280
その他の包括利益累計額合計	2,126	1,791
純資産合計	36,459	35,897
負債純資産合計	90,730	89,239

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年３月31日）
売上高	19,621	22,588
売上原価	17,238	19,725
売上総利益	2,382	2,863
販売費及び一般管理費		
販売手数料	28	29
運送費及び保管費	570	674
給料	507	512
賞与引当金繰入額	123	163
役員報酬	73	77
退職給付費用	39	37
役員退職慰労引当金繰入額	9	－
減価償却費	32	26
研究開発費	249	287
貸倒引当金繰入額	△2	△0
その他	544	556
販売費及び一般管理費合計	2,176	2,366
営業利益	205	496
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	2	2
為替差益	98	－
雑収入	34	31
営業外収益合計	137	35
営業外費用		
支払利息	87	82
債権売却損	4	－
為替差損	－	23
持分法による投資損失	－	28
雑損失	15	10
営業外費用合計	107	144
経常利益	235	386
特別利益		
固定資産売却益	－	0
投資有価証券売却益	6	－
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除売却損	26	118
特別損失合計	26	118
税金等調整前四半期純利益	215	268
法人税、住民税及び事業税	89	131
法人税等調整額	△76	△85
法人税等合計	12	46
少数株主損益調整前四半期純利益	203	222
四半期純利益	203	222

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	203	222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	635	△312
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△22
その他の包括利益合計	635	△334
四半期包括利益	838	△112
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	838	△112
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年３月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	合成樹脂事業	新規材料事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,927	5,044	1,386	18,357	1,263	19,621	—	19,621
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	—	0	140	141	△141	—
計	11,928	5,044	1,386	18,358	1,404	19,762	△141	19,621
セグメント利益又はセグメント損失（△）	644	74	△188	529	66	595	△389	205

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△389百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△389百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成26年１月１日　至　平成26年３月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	合成樹脂事業	新規材料事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,027	6,160	1,942	21,130	1,457	22,588	—	22,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	—	1	140	141	△141	—
計	13,028	6,160	1,942	21,131	1,597	22,729	△141	22,588
セグメント利益又はセグメント損失（△）	601	253	△10	844	90	934	△438	496

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△438百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△438百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。